

学校運営協議会を行いました！

今月1日(木)、今年度の1回目の学校運営協議会を行いました。今年度は、コロナ禍が明けたということで、例年に近づけた活動にしようと話し合われました。花壇整備や交通安全・学習支援など、様々な案が提案されました。

今年も、学校が目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。次回の部会は10月、土曜授業日を予定しています。



祝梅小学校園避難所運営準備委員会

6月21日(水)に祝梅小学校園避難所運営委員会総会が祝梅コミセンで開催されました。

皆様もご存じの通り、有事の際、本校は避難所が開設されます。今回の総会では、避難所運営委員会と学校が協力して避難所の設営をする、という確認がされました。

11日(日)の震度5弱(千歳市)の地震では、学校・地域共に被害はありませんでしたが、改めて避難所を開設するための対応を確認しなければ、と総会で話題になりました。

次回は、8月を予定しています。

7月の予定

日	曜	学校行事	給	心の教室	スクールカウンセラー	花壇
1	土					
2	日					
3	月	クラブ④	○			
4	火	備品点検④(～14)	○	○		
5	水	フッ化物洗口 口座再振替日 ALT	○			
6	木	自然体験学習(3年)	○	○		
7	金	社会見学(2年) ALT 図書館の森閉館	△			○ 10時
8	土					
9	日	祝梅コミセン七夕イベント				
10	月	委員会④ 自然体験学習予備日(3年) ALT	○	○		
11	火		○		○	
12	水	フッ化物洗口 ALT 教材支払日④	○			
13	木	修学旅行(6年)	△	○		
14	金	修学旅行(6年)	△			
15	土					
16	日					
17	月	海の日				
18	火	夏休み図書貸出(低)	○	○		
19	水	夏休み図書貸出(高) フッ化物洗口 ALT 職員会議(8・9月分④)	○			
20	木	社会見学(あさがお)	△	○		
21	金	5時間授業	○			○ 10時
22	土	夏季休業開始				
23	日					
24	月	チャレンジ教室④ 口座振替日 青葉中学校部活動体験④				
25	火	チャレンジ教室④ 青葉中学校部活動体験④				
26	水					
27	木	※心の相談員、スクールカウンセラー とのご相談をご希望の方は、学校まで お問合せください。				
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					



千歳市立祝梅小学校 学校だより 夢に向かって 主体的に 行動する子を育む

～言葉&思いやり&健康～

祝梅

『すくすく のびのび』

令和5年6月30日発行

第4号

みとめ合い まなび合い たかめ合い きたえ合う 祝梅っ子



「時間を守る」で「思いやり」を考える

校長 岩崎 愛彦

以前いた学校で次のようなことがありました。

職員会議の司会者が時間になっても全員が集まらず困っていました。当時の校長が、「時間になったので会議を始めてください。」と言いました。すると、一部の先生から、「全員揃っていないのに始めるんですか？」という声があがりました。「それって冷たくないですか？」という抗議にもなりました。さて、これをどのように考えますか？



このことを「思いやり」という視点で考えてみます。すると、そもそも思いやりがないのは「誰か」ということになります。校長でしょうか？遅れてきた職員でしょうか？また「誰に対する」思いやりなのかとも考えてみましょう。

きっと抗議した職員は、「遅れている職員」に対して優しくないのではないかということでしょう。それはわかります。しかし、その校長は違った話をしました。

「私は、遅れている人への思いやりよりも、業務多忙な中、貴重な時間を割いて、時間通りに集まってくれている職員全員に対しての思いやりを重視すべきだと考えます。遅れている人はそれなりの理由があるのかもしれませんが、ですからその人を責める気持ちはありません。しかし、その一人の職員に他の人たちの貴重な時間を奪う権利はありません。ですから、遅れることは仕方のないこととして、時間通りに集まった人たちでできることをしていくことが大事だと思います。」と。

これって教室でも起きることなんです。授業のはじめと終わりにはチャイムが鳴ります。全ての教室で授業が行われます。授業中ですから、廊下で大きな声を出すのは当然迷惑になります。自分の教室でも、チャイムが鳴ったら授業が始まらなければなりません。いつまでもしゃべっている子、トイレに行こうとする子などは、やる気になっている周りの子に対して優しい姿ではないのです。「自分には今やりたいことがある」として、クラスのみんなが待っているにもかかわらず、自分の行動を続ける子が時々います。これは「私（自分）」優先で、「公」意識が低いと言えます。言い換えると、クラスのみんなへの思いやり・優しさよりも自分のことを大切にしているという自己中心的な「冷たい」行動だとも言えるのです。「祝梅小をととのえる」でも「時間を守る」指導をしています。これが定着すると、教室が安定し、安心できるので、次の授業へのみんなの意識が高まります。その結果「学ぶ力」も「学習意欲」も高まっていくのです。

「時間を守る」という一見細かなことのようにですが、「けじめ」だけではなく、一緒に過ごす周りの人たちへの「思いやり」でもあるということを、子供たちにもしっかり伝えていきたいものです。運動会が終わり、校外へ出たり、外部から講師を招いたりする授業も行われます。

「思いやり」に重点を置く今年度の祝梅小学校としても、子供たちが優しい気持ちで過ごせるように育てていきたいものです。明るく元気な祝梅っ子のためにも、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第48回大運動会を実施！！みんなで挑戦「自己ベスト」青葉っ子スタンダード

17日(土)は、第48回大運動会を実施しました。毎日不安定な天候が気になるころでしたが、子供たちの願いが叶い、当日の天候は、最高の運動会日和となりました。また、今年はコロナウィルス感染症が5類に引き下がり、声出し応援も可能となりました。日常が戻りつつありますが、今後も、手洗いなどをしっかりさせ、活動に取り組ませて参ります。

観覧席の利用の仕方や駐車について、また、運動会準備・後片付けにご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで、大きな怪我もなく終了することができました。運動会を通して「目標に対して諦めることなく、粘り強く学ぼう（取り組もう）」とする「姿勢」が育てられたのではないかと受け止めています。



それぞれの学年の目標を超えようと努力してきた子供たち。一人一人が仲間を思いやり、一緒に頑張った姿を見ることができました。学校は4期のうちの2つ目「のびのびステージ」、目標は「時間を守って行動しよう」になりました。わくわくステージでの頑張りを次のステージにいかせるよう、声をかけて参ります。

児童トイレ改修について

6月26日から11月中旬まで、本校の児童用トイレの全面改修が行われます。これに関わりまして、3・4階から順に改修を行いますので、児童はいつも利用しているトイレと異なる階を利用することになります。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。土日・夏季休業中も工事関係車両が往来します。学校でも安全面には十分注意しますが、ご家庭でも「工事現場・車両には近づかない」など、声をかけていただければ幸いです。

いじめ調査について

先日、本校で「いじめ調査」を行いました。いじめ認知委員会で、「嫌な思いをしている」「今後も見守りが必要」という観点で話し合いをしました。結果、トラブルとして受け止め、今後も様子を見ていこうとするものを44件としました。

いじめの内容としては、「冷やかしゃ悪口を言われる」「ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする」が最も多い結果となりました。今後も、担任はもちろん、学年・学校全体で注意深く見守っていきます。

ご心配なことがございましたら、いじめ認知委員会担当 教諭、または、学校までご連絡ください。

北海道みんなの日

7月17日は、「北海道みんなの日（愛称「道みんなの日」）」です。この日は、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が明治2年「北加伊道」の名称を提案した日だそうです。

祝梅小学校では、本校の図書館司書の協力により、図書森に「北海道コーナー」を設置しました。

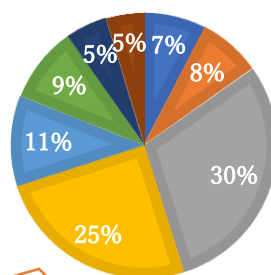
子供たちにとって、北海道への興味や愛着と、「北海道はすばらしい！」という誇りをもつきっかけになればと思います。



北海道にゆかりのある人物の本もあります。

就寝時刻について

■ 8時 ■ 8時30分 ■ 9時 ■ 9時30分
■ 10時 ■ 10時30分 ■ 11時 ■ 11時30分



先日、「わくわくステージ」の評価を行いました。その結果、低学年でも10時30分以降に寝ている児童がいることがわかりました。ご家庭のタイムスケジュールもあると思いますが、よく眠ることで、①成長ホルモンを分泌 ②記憶の整理と定着 ③脳と身体の疲労回復 に効果があると言われていますので、お子様と再度話し合ってみてはいかがでしょうか。



6月24日（金）に草取り2回目を実施しました（1回目は雨天で中止）。児童館の先生が参加してくださいました。おかげできれいな畑になりました。次回へのご参加をお待ちしております。

<放課後の過ごし方について>

- ①家の人に行き先・何時に帰るかを伝える
- ②勝手に友達の家に入らない

以上の2点を子供たちに指導しました。ご家庭でも話題にしてみてください。